

**製品名: CD8 アルファウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab01333**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 26 kDa; Observed MW: 32 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD8A
別名	CD8A; MAL; T-cell surface glycoprotein CD8 alpha chain; T-lymphocyte differentiation antigen T8/Leu-2; CD antigen CD8a
遺伝子 ID	925
SwissProt ID	P01732
免疫原	ヒト CD8α の合成ペプチド

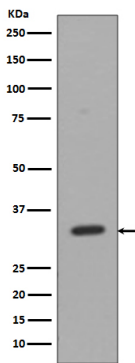
**背景**

MHCクラスIを担う標的と相互作用する細胞傷害性 T細胞 / 抑制性 T細胞を同定します。CD8はT細胞を介した細胞傷害のプロセスにおいて重要な役割を果たすと考えられています。CD8 $\alpha$ 鎖はクラスI MHC分子の $\alpha$ 3ドメインに結合します。

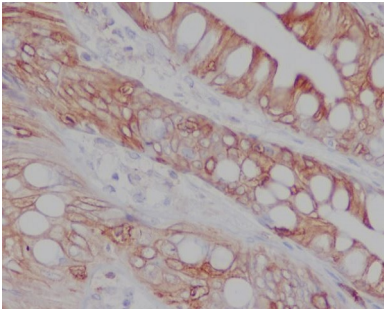
## 研究分野

免疫学

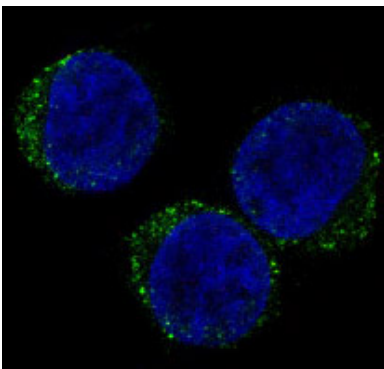
## 画像データ



CD8 アルファ抗体を使用した Jurkat 溶解物中の CD8 のウェスタン プロット分析。



CD8 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



CD8 抗体を使用した Jurkat の CD8 アルファの免疫蛍光分析。

CD8 抗体を使用した Raji 溶解物中の CD8 アルファのウエスタン ブロット分析。

